

「環境対応」を、次の受注力へ。

自然を守るだけでなく、建設によって自然を良くする時代が始まっています。
ネイチャーポジティブ、グリーンインフラ、災害復旧、川づくり、資金調達一。
これからの土木建設事業を、環境と経営の視点で学ぶ2時間。

自然再生が 建設の仕事になる 時代

～建設ネイチャーポジティブについて～



講師：中村 圭吾（なかむらけいご）氏
国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ長
（島根大学／東京理科大学 客員教授）



日時

2026年 8月28日（金） 15:00～17:00



会場

鳥取市民交流センター（麒麟Square）多目的室1
（鳥取市役所市民交流棟2階）



対象

鳥取市を中心とした県内土木・建設・建築業の方々



参加方法

事前申込制（裏面参照）



このセミナーでわかること

- ✓ 国際潮流としてのネイチャーポジティブ
- ✓ 英国の「生物多様性ネットゲイン」政策
- ✓ 治水・災害復旧を自然再生の機会に変える川づくり
- ✓ 資金調達と先進事例から、次の事業機会を探る

※ネイチャーポジティブ：自然環境や生物多様性の損失を抑えるだけでなく、回復・再生へと転換すること

自然再生が建設の仕事になる時代

～建設ネイチャーポジティブについて～



講師からのメッセージ

自然の損失を止め、回復させるネイチャーポジティブの時代に入りました。イギリスでは、建設時に環境を保全するだけでなく10%向上させることが法律で義務付けられました。国内でも河川では環境の定量目標が整備計画に記載され、ネイチャーポジティブな川づくりが進み、道路法は1条に基本理念が創設され「環境」が追加されました。各地ではグリーンインフラの名のもとに、自然の多様な機能を活用したインフラ整備が進みます。この新たな時代に建設は何ができるのか？一緒に考える時間を持ちたいと思います。



講師プロフィール

中村 圭吾 氏

(なかむら・けいご)



国立研究開発法人土木研究所
流域水環境研究グループ長
(島根大学／東京理科大学 客員教授)

1971年三重県紀北町(奇跡の川 銚子川の町)生まれ。1994年大阪大学工学部土木工学科卒業後、建設省(現・国土交通省)に入省。土木研究所河川環境研究室、スイス連邦工科大学客員研究員、福井河川国道事務所長、土木研究所河川生態チーム上席研究員等を経て現職。河川環境・流域環境を中心に、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの技術部会長としてグリーンインフラの研究・推進にも取り組む。ネイチャーポジティブ時代の建設・土木のあり方に関して講演等多数。近著に「建設ネイチャーポジティブ」(日経BP社)。



セミナー概要

- ✓ 国際的潮流としてのネイチャーポジティブ
- ✓ 建設後は自然が改善する英国の政策(生物多様性ネットゲイン)
- ✓ 日本で進むグリーンインフラの取組み:多目的インフラの時代
- ✓ 治水事業・災害復旧を自然再生の機会と捉える川づくり
- ✓ ネイチャーポジティブ時代の多様な資金調達
- ✓ 取組み事例(かわまち、休耕田、森林、魚道再生、ハビタットバンク)
- ✓ インフラマネジメントから国土資本マネジメントへ



こんな方におすすめ

- ✓ 土木・建設・建築分野の新たな事業機会を探している方
- ✓ グリーンインフラや自然再生に関心のある方
- ✓ 治水、災害復旧、地域づくりの新潮流を知りたい方
- ✓ ネイチャーポジティブ時代の官民連携を考えたい方

お申し込み

下記フォームよりお申し込みください。

<https://ncit.site/?p=545>



こちらのQRコードから
スマートフォンからも
お申し込みいただけます

主催
問合せ先

鳥取市自然資本産業創造協議会
鳥取市自然資本産業創造協議会事務局
wenli@a-zero.co.jp (株式会社エーゼログループ 担当:松崎)

鳥取市自然資本産業創造協議会は、鳥取市 自然資本産業誘致・振興事業において設立された、鳥取の豊かな自然を地域の資本として捉え、自然環境の保全・再生と地域産業の発展を両立する、新たな事業や連携の創出を目指す産官学協働の協議会です。